

# 2021年度 第3回 苦情処理委員会

日時 3月29日(火) PM2:00~3:00

場所 ちどり保育園 手つなぎルーム

園長(井上邦子) 主任(寒川美穂)

※コロナの感染状況により第三者委員(原田秀一)(井上准子)へは書面にて報告する。

## 《議題》

### 1) 今まで(2月~3月)の経過報告

#### ① 保護者との連携・保護者対応

##### ◎保育園における新型コロナウイルス感染症の状況について

・1月末から3月は福岡でも感染者が急増し、ちどり保育園でも園児、職員、保護者の陽性が確認された。保育園に関しては、保健所が濃厚接触者の特定をしなくなったので、園と福岡市子育て支援課で協議のうえ、濃厚接触者の可能性のある園児、職員に対して登園自粛の要請をすることとなった。この時期は、家庭内感染も多かった。

1.2歳児の1クラス:1月下旬~2月上旬・3月上旬

3.4.5歳児の4クラス:2月下旬~3月上旬 順次、クラス閉鎖となった。

家庭内感染も増加し、感染経路を把握することは困難な状況だった。

##### ◎新型コロナウイルス感染防止対策と感染した場合の対応について

・地域での感染者急増で福岡でも1日4000人越えの陽性者が出ていた。改めて、検温、消毒、マスク着用などを徹底した。また、保育でも活動内容、時間、空間などを配慮した内容にすること。他クラスとの合同保育を極力避けるなどの対策をとった。

園児のマスク着用は、園として求めてないが、保育中、活動内容によって年長児にはマスクを着用させるなどの対応をした。乳幼児のマスク着用については、発達もふまえ保護者にも説明をしていった。

・緊急時の連絡については、sigfyにて迅速に発信することが出来るようになった。また、情報の共有により保護者の理解も得やすくなった。

・園児が濃厚接触者の可能性があるると園が判断し、急に登園自粛のお願いをせざるを得ない場合も度々あったが、保護者の理解、協力はあり大きな苦情等はなかった。

##### ◎年度末の行事について

(観劇会) ➡ 1月に幼児クラスのみ、感染対策のうえ計画していたが、感染状況により3月に延期した。しかし、3月もまだ難しく中止した。

(卒園を祝う会)

・3月20日(日)に予定していたが、卒園児1名が登園自粛期間で参加できなかったため、26日(土)に延期した。(1部のみ:時間短縮、卒園児保護者、職員のみ参加)

⇒限られた条件での開催になったが、保護者の感染予防対策の協力と理解が得られ、無事、終了した。卒園児が全員参加で来たことが何よりだった。

※ちどりの保育の歴史（保育理念）は、コロナ禍で、人と人との繋がりが持てず希薄になっている中で、孤立せず、みんなで「共育て共育ち」していく事の大切さを再認識させられた。

### ◎個別対応の必要な家庭

- ・ 行政機関との連携（児童相談所・療育センター・保健所等）

#### ② 安全と衛生の対策・危機管理

- ・ 日常の保育環境における安全点検と対策（園庭・室内）
  - ・ ヒヤリハット、事故の検証と情報共有⇒ 2021年度の傾向と対策
  - ・ 避難訓練（火災・水害・地震・不審者 等）
  - ・ 緊急時の連絡体制が sigfy の導入により迅速に対応できるようになった。  
保護者・職員に発信しても確認しないケースもあるため、危機管理として周知徹底をしていく。
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の予防対策と情報の提供
- ⇒ 対策 手洗いの徹底、室温湿度の管理、加湿器の設置、  
保護者への周知（手指のアルコール消毒・検温・37.5 度以上欠席  
保育園滞在時間の短縮・話し合いの自粛など）

#### ③ 保育方針の理解

- ・ 異年齢保育実践の積み上げ。（3.4.5 歳児は 6 年目・1.2 歳児は 4 年目）  
実践の中で見えてきた子どもの姿（子ども同士の育ち合い）や、その中で何を大事にしたいのかを保護者に発信していった。まだまだ実践を積み重ね、保護者と共有していく必要がある。  
⇒ 保護者の理解を得る為には、子どもの姿（保育の実践）からである。  
信頼関係を基盤に保育の専門的力を高め、日々の保育を伝えていく。
- ・ 法人の綱領を保護者と共有する。「子どもたちの健やかな成長を保障する平和で民主的な社会」の実現のためにも、今の情勢を知り考え、保育子育て、平和についての思いを語り合い、子どもたちのしあわせを願うすべての人たちと力を合わせていく。
- ・ 2020 年度は、コロナ禍であったが、クラス懇談会・わくわく広場、子育てを伝える会（書面）、子育て保育のつどい（WEB）、署名活動・平和を考える月間等、

制限がある中でのやり方を工夫し、父母との共同で「共育て、共育ち」を感じられる活動となった。※ 資料参照

#### ④ 地域との関係

- ・地域住民の方より

2月26日

園の正門前の道路。途中、アパートの間に通路があるが、道路ではなく私道である。在園児と思われる親子が取りぬけをしたという事で、私道を歩く音が耳障りとの苦情あり。

➡園日より3月号、正門前に注意の貼紙で保護者に周知徹底する。

3月15日

夕方、小さい男の子連れの親子がアパートの前を通ったと苦情の電話が入る。

➡度々、アパートの住人より苦情があるため、3月26日に理事長と園長でアパートの管理人に謝罪、挨拶に行く。アパートの住人に謝罪。

- ・駐車場待ちの路上駐車に対する近所からの苦情は、時々ある。  
引き続き、ルールの徹底と協力を呼びかけていく。
- ・2020年度は、コロナの為、地域の行事も中止となった。地域の方に保育園の事を知ってもらう。

#### ◆ 保育情勢について

- ・新制度の矛盾点や課題も残っている。引き続き、より良い保育環境を実現できるよう、保護者と共に行政にも働きかけていく必要がある。